

【 記 入 例 】

フロン排出抑制法対応 汎用版

※赤い字の項目は必ず記載してください。記載がないとフロン排出抑制法に適合した書面になりません。

- 1 廃棄する機器の所有者等
〔青色の字〕
- 2 取次者(1)
〔茶色の字〕
- 3 取次者(2)
〔緑色の字〕
- 4 第一種フロン類充填
回収業者〔紫色の字〕

- A票に記入

 - ・廃棄する機器の所有者等：全て
 - ・取次者(1)：氏名又は名称、住所、連絡先

→B票に記入

 - ・太枠内(再委託承諾に係る欄)
- B票に記入

 - ・取次者(1)
 - 担当者部署名、氏名、フロン類の引渡し先にレ点
 - ・取次者(2)
 - 氏名又は名称、住所、連絡先

→C票に記入

 - ・取次者(1) 回付の年月日
- D票に記入

 - ・取次者(2)
 - 担当者部署名、氏名、フロン類の引渡し先にレ点、回付の年月日
 - ・第一種フロン類充填回収業者
 - 登録番号、登録都道府県、氏名又は名称、住所、連絡先
- E票に記入

 - ・第一種フロン類充填回収業者
 - 担当者部署名、氏名、フロン類引き取り終了した年月日、引取証明書交付の年月日、充填回収技術者氏名
 - ・回収量等 該当項目全て

→F票に記入

 - ・処理方法等 該当項目全て
 - ・引渡し先 該当項目全て

代表者又は担当部署の担当者	<input type="checkbox"/> 機器整備・修理 (機器の整備・修理時に使用する場合は、左記にレ点を記入)	伝票番号	0001234567
エアコンディショナー：人の冷暖房冷蔵機器及び冷凍機器：物を冷却する機器	廃棄する機器の所有者等 (第一種特定製品廃棄等実施者) 機器所有者等の氏名又は名称 (株)青空商事 上記の住所 〒215-2212 〇〇県青空市白雲町3-4-5 担当者 部署名 〇〇部 氏名 青木 〇男 廃棄する機器がある施設(建物)名 青空ビル1階 上記の住所 〒215-2345 〇〇県青空市宝町1-1-1 エアコンディショナー 10台 冷蔵機器及び冷凍機器 50台 建物解体(含修繕・模様替え)の有無(下記該当に〇印) 解体(修繕等)あり	交付の年月日	2015年10月1日
引渡し先にレ点	フロン類の引渡し先 (右記該当にレ点) <input type="checkbox"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する (第一種フロン類充填回収業者欄に記入する)	電話	△△-1111-1111
フロン類回収を委託する取次者の名称等及び住所	取次者(1)の氏名又は名称 環境建設(株) 上記の住所 〒215-1234 〇〇県清風市涼風2-1-1 担当者 部署名 △△部 氏名 大木 〇朗 下記の者にフロン類を引き渡します。(引渡し先にレ点を記入)	回付の年月日	2015年10月6日
引渡し先にレ点	<input checked="" type="checkbox"/> 取次者(2) 取次者(2)に再委託することを承諾します。	電話	△△-3440-0011
取次者(1)より取次者(2)へ再委託する場合、廃棄する機器の所有者等から承諾を得る	取次者(2)の氏名又は名称 天空企画(株) 上記の住所 〒215-8900 〇〇県虹橋市七色町5-2-5 担当者 部署名 〇〇部 氏名 森 △介 承諾の年月日 2015年10月4日 担当責任者 青木 〇男	FAX	△△-3440-0033
引渡し先にレ点	<input checked="" type="checkbox"/> 第一種フロン類充填回収業者	FAX	△△-2525-5678
第一種フロン類充填回収業者が都道府県知事から受けている登録番号を記入。都道府県のホームページ又は窓口で閲覧、確認できる	登録番号 567890 登録都道府県 〇〇都道府県 第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称 (株)冷媒回収設備 上記の住所 〒214-4567 〇〇県住良市大吉町5-5-5 担当者 部署名 〇〇部 氏名 小林 △太	フロン類引き取り終了した年月日	2015年10月12日
依頼をする第一種フロン類充填回収業者の名称等及び住所		引取証明書交付の年月日	2015年10月13日
代表者又は担当部署の担当者		充填回収技術者氏名	回収 太郎
		電話	△△-1111-1192
		FAX	△△-1111-2525

下記のとおりにフロン類を回収しました。

回収等	フロン類の種類				管理番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0					
	第一種特定製品の種類	CFC	HCFC	HFC						
	エアコンディショナー	台 kg	10 台 300 kg	台 kg	10 台 300 kg					
	冷蔵機器及び冷凍機器	台 kg	10 台 300 kg	台 kg	50 台 60 kg	50 台 60 kg				
計	台 kg	10 台 300 kg	50 台 60 kg	60 台 60 kg	60 台 360 kg					
銘板に記載されている充填量(明る範囲で記入する)	台 kg	10 台 330 kg	50 台 65 kg	60 台 395 kg						
フロン類が回収できなかった場合の台数及び要因	1 台 要因： 室外機コンデンサー腐食による穴あき									

回収したフロン類の処理方法等

フロン類の引渡し先等 (該当する番号を○で囲む)	CFC			HCFC			HFC			左記の冷媒番号	容器識別番号	フロン類再生・破壊管理票の伝票番号
	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1:破壊業者(※1)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R 22	A0001, A0002, A0003	1234000
2:再生業者(※1)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R 22	A0004, A0005, A0006	1234001
3:自ら再生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R 404A	A0007	
4:(施行規則)第49条第1号に規定する者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R		
5:保管	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R		

※1) 上記の01:破壊業者 2:再生業者 を選択し、別表「フロン類再生・破壊管理票」を使用する場合は、容器識別番号及びX票の伝票番号を必ず記入する。

引渡し先業者が複数いる場合は、F票をコピーして使用

右記の内、該当する引渡し先の番号を○で囲む

都道府県	〇東京	住所	〒105-xxxx 東京都港区〇〇 123-45
許可・認定番号	123456789	氏名又は名称	(株)フロン破壊再生
電話	03-xxxx-1111	自ら再生した場合の再生した年月日(※3)	2015年10月16日
FAX	03-xxxx-2222	フロン類引渡し又は充填を終了した年月日	2015年10月20日

※2) 引渡し先が複数ある場合は、F票をコピーして使用する。
 ※3) 引渡し先を「3:自ら再生」とした場合のみ記入する。